

特別経費(プロジェクト分)－高度な専門職業人の養成や専門教育機能の充実－

「まなびの総合エリア」を養成・研修拠点とした統合型教員養成

(実施期間:平成22年度採択～平成24年度)

本プロジェクトの特色

教師の資質向上のためにはこれまで、大学における教員養成カリキュラムの充実と、教員採用後の現場における教育方法技術の習得が必要とされてきました。一方、教育課題が多様化する中で学校あたりの教員数が減少するなど、採用された教員に対しては即戦力と実践力が強く求められております。本プロジェクトでは、複数の実務家教員を一つのエリアに配置して学生の教育を行うとともに、特に臨時的に採用された教員に対して大学・附属学校園を活用して現職研修を実施するなど、これまでの「養成は大学で、研修は採用者が」とは一線を画す、教員養成と教職研修の垣根を低くした統合型の教員養成を行うことを特色としています。

「まなびの総合エリア」とは？

「学びの統合マネージャー：卓越した教職体験を教育相談に活用できる教員」「クロスオーバー・ディレクター：普通教育と特別支援教育の両者に卓越した教師力を有し、学生の教職演習や現職の教員研修に活用する教員」「伝承・創造スーパーバイザー：秋田の学力・教師力を研究してモデル化し、学生の教師体験教育に活用する教員」と命名する三名の実務家教員を配置して記載の任にあたり、また学部教員と連帯することにより、その相乗効果をもって教師教育と

現職研修を推進する組織場、を指します。なお、その物理的な場を教育実践研究支援センター内に置いています。また、「あきた教職.net」というネットワークを介して学生や県内外の教員が接続できるネット環境の場でもあります。

プロジェクトの概要

1. 附属学校園等を活用して現職教員(特に研修の場を求め臨時採用教員)に対する教育方法技術に関する研修を行います。
2. 普通学級の中で特別な支援を必要としている児童生徒の指導を教師が行うための方法について、大学教育・現職研修の場で実践的な指導・研究を行います。
3. 教育相談活動を行うための環境を整えます。相談室と模範となる授業風景のビデオライブラリを整備し、対面での相談活動に活用します。また、遠隔での相談を行うための「あきた教職.net」を活用してネット上での教育相談活動にあたります。
4. 新規授業科目である教職実践演習について試行を行い、教師力を高めるための教育内容について研究します。
5. 全国学力テストにみられた秋田の学力・教師力を分析してモデル化し、伝承・創造すべき力についての実証研究を行います。

